

# 図書だより TREASURE



さわやかな風が吹く5月となりました。連休も終わり、いよいよ学校生活が本格的に始動しました。図書室でも毎日たくさんの生徒が本を借りたり、読書をしたりと、活発な読書活動の様子が見られます。

5月、6月はたくさんの行事が続いて忙しい毎日となりますが、ぜひお気に入りの本を読んで、心がゆったりとくつろげるようなリラックスタイムを楽しんでください。



## 図書室からのお知らせ

### 1年生のオリエンテーションを実施しました

4月14日と15日、1年生を対象に、図書室利用のためのオリエンテーションを実施しました。宝木中図書室のルールやマナー、本の分類・並び方の確認とともに、調べ学習についても触れました。

中学の図書室で、本や新聞などを使った調べ方のノウハウを知って、たくさんの経験をしてください。そして、的確な情報の取捨選択、正確な情報の見極めができるようになりましょう。



### スポーツの本を紹介します

5月22日は体育祭です。今月、図書室の入り口の左側にある展示コーナーで、スポーツの本の紹介をしています。

1年生のみなさんも部活動に励む毎日が始まりました。6月には大会もありますね。気になる本を見つけたら、司書室に声をかけてぜひ手に取ってご覧ください。

## 5月はいじめゼロ強化月間です

今月は、おたがいの優しい気持ちにふれてだんだんとひかれ合い、絆を深めていく二人のお話からの出題です。みなさんも優しい気持ちで毎日を過ごせていますか？宝木中には、「ディズニープリンセス 6姫の夢物語 美女と野獣」と、「えいごでよむディズニーえほん Beauty and the Beast」があります。



城で生活するうちに野獣の心の美しさに気づいたベルは、いっしょに過ごす食事の時間が楽しみになっていました。

2枚のイラストには、5つのまちがいがあります。いくつ見つけられるかな？



### お話給食の放送はいかがでしたか？

4月23日の「給食室のいちにち」の放送は楽しんでいただけましたか？3年生の図書委員長と副委員長が放送を担当してくれました。

今後も図書委員とともに、様々な情報をお伝えしていきますので楽しみに。



# 宝木中生に読んでほしい10冊

学年ごとの、推薦図書10冊です。国語の時間にリストを配布しました。全部読んで、リストに一言感想を書いたら、**完読賞の賞状がもらえ、その年度は本が1冊多く借りられるようになるゴールドカード**をお渡しします。図書室の学年の本コーナーにあります。図書室の本でなくても、同じ本であれば大丈夫です。ぜひチャレンジしてみてください。

## 1年生

「ポケット詩集」	田中和雄	「竹取物語」	
「あのこと」	さくらももこ	「十五少年漂流記」	ジュール・ヴェルヌ
「蜘蛛の糸・杜子春」	芥川龍之介	星新一の作品	
「中学時代がハッピーになる30のこと」	中谷彰宏	「夏の庭-The Friends」	湯本香樹実
「カラフル」	森絵都	「光の旅かげの旅」	アソ・ゾラ

## 2年生

「詩の玉手箱」	三木卓	「一瞬の風になれ」	佐藤多佳子
「小僧の神様」	志賀直哉	「穴」	ルイス・サッカー
「夢十夜」	夏目漱石	「14歳からの仕事道」	玄田有史
「西の魔女が死んだ」	梨木香歩	「平家物語」	
「青空のむこう」	アレックス・シラー	「ぼくを探しに」	シウ・アスティン

## 3年生

「すてきなひとりぼっち」	谷川俊太郎	「そして誰もいなくなった」	アガサ・クリスティ
「山椒大夫・高瀬舟」	森鷗外	「アルケミスト」	パウル・コエリョ
「星の王子さま」	サンテグジュペリ	「自分を好きになる本」	パット・パルマー
「いちご同盟」	三田誠広	「奥の細道」	松尾芭蕉
「夜のピクニック」	恩田陸	「木を植えた人」	ジャン・ジカ

## 第71回 青少年読書感想文全国コンクール課題図書

今年度も、青少年読書感想文全国コンクールの課題図書が決定しました。図書室でも1冊ずつ購入する予定です。市立図書館で借りる場合、夏休み前～夏休み期間中は貸し出し希望者が増えることが予想されますので、早めの予約をおすすめします。

### 「私は食べるのが下手」 天川栄人 著 北村みなみ イラスト 小峰書店



みんなと食事をするのが苦手な中学1年生の葵は、毎日少ししか給食が食べられません。そんな中、学校では食品ロスを減らすために完食月間が始まってしまい…。同じく食事に対する悩みを抱える咲子や他の仲間とともに、「食べること」の意味について考えていきます。食べることは生きること。家庭や宗教、文化などいろいろな角度から「食べること」について考えることができる1冊です。

### 「スラムに水は流れない」 ヴァルシャ・バジャージ 著 村上利佳 訳 草野碧 挿画 あすなろ書房



ミンニは、インドのスラムで暮らす12歳の少女です。水道のないスラムでは水はとても貴重なものでした。家族と暮らすミンニでしたが、兄は水マフィア（水どろぼう）から逃げるため、母は病のために家から離れていってしまいます。母の仕事を引き継ぐミンニ。ハラハラドキドキする展開もあり、ひきこまれますよ。カースト制度という身分制度が残るインドで、力強く前向きに生きていくミンニの物語。ぜひ、一緒にミンニの成長を見守ってください。

### 「鳥居きみ子 家族とフィールドワークを進めた人類学者」 竹内紘子 著 くもん出版



明治から昭和にかけて、人類学を研究し、調査した鳥居きみ子の伝記です。きみ子は人類学者である夫の鳥居龍蔵とともに、子ども連れてモンゴルや中国に行って調査を進めます。女性は家庭で子を産み育てるものという考えかたが一般的だった当時に、その型を打ち破り、女性研究者の草分け的存在となっていくきみ子の生涯。今の時代を生きるみなさんたちに、ぜひ読んでもらいたい本です。日本で親しまれている昔話や伝承の、各国での記録についても、関心のある人には興味深く読む事ができます。